

## ⑫ 公開実用新案公報(U)

昭61-73093

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>F 04 C 18/02  
29/10

識別記号

庁内整理番号

A-8210-3H  
A-8210-3H

⑭ 公開 昭和61年(1986)5月17日

審査請求 未請求 (全3頁)

⑮ 考案の名称 スクロール式圧縮機

⑯ 実 願 昭59-158792

⑰ 出 願 昭59(1984)10月20日

⑱ 考 案 者 井 口 治 横浜市瀬谷区阿久和町4309

⑲ 出 願 人 ト キ コ 株 式 会 社 川崎市川崎区富士見1丁目6番3号

⑳ 代 理 人 弁理士 広瀬 和彦 外1名

## ㉑ 実用新案登録請求の範囲

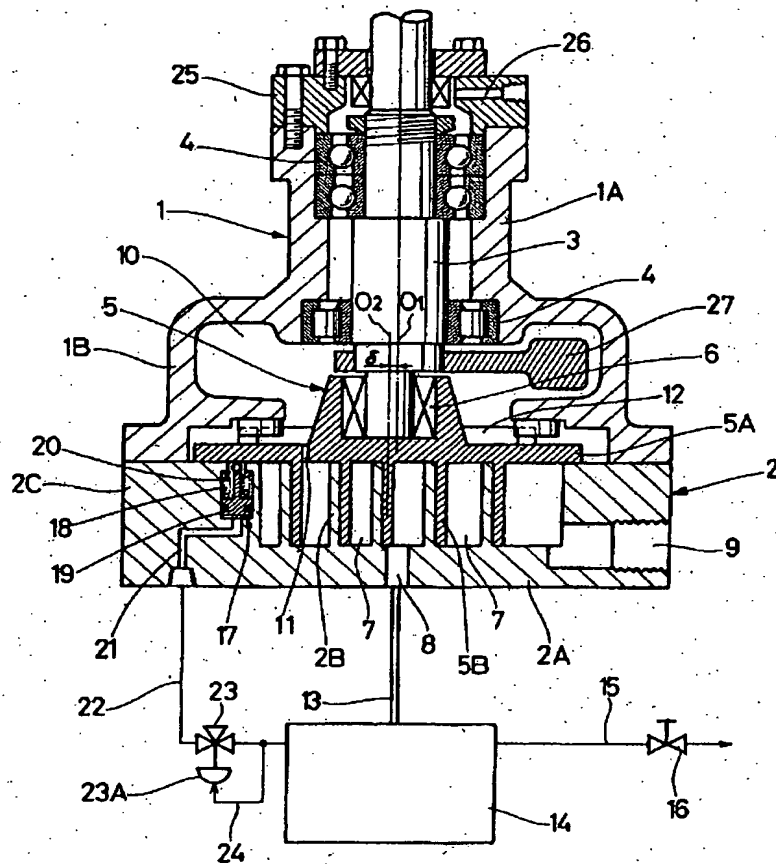
ケーシングに固着され、鏡板にうず巻状ラップ部が立設された固定スクロールと、前記ケーシングに回転自在に設けられた駆動軸と、前記固定スクロールのラップ部と重なり合つて旋回する間に圧縮室を形成するように鏡板にうず巻状ラップ部が立設された旋回スクロールと、前記固定スクロールの中心位置に設けられた吐出口と、該吐出口から離れた位置に設けられた吸込口とからなるスクロール式圧縮機において、前記吐出口側の圧力が所定圧力に達したへき前記旋回スクロールを固定スクロールから離間させ、無負荷運転状態とする旋回スクロール離間機構を設けたことを特徴とするスクロール式圧縮機。

## 図面の簡単な説明

第1図は本考案の第1の実施例を示す縦断面図、第2図は同じく本考案の第2の実施例を示す縦断面図である。

1…ケーシング、2…固定スクロール、2A…鏡板、2B…ラップ部、3…駆動軸、5…旋回スクロール、5A…鏡板、5B…ラップ部、7…圧縮室、8…吐出口、9…吸込口、10…クランク室、11…背圧導入孔、13…吐出配管、14…油分離器、17…旋回スクロール押上げ機構(旋回スクロール離間機構)、18…シリンダ、19…ピストン、20…弱ばね、21…空気通路、22…空気配管、23…圧力調整弁、31…圧力検出スイッチ、32…電磁弁。

第 1 図



第 2 図

